

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 鯖江市惜陰小学校

運動の楽しさを理解し、心も体もパワーアップ

<体育の授業について>

- 年間指導計画に沿った系統的な指導（指導内容の定着のため、運動の系統性を意識した弾力的な指導計画）
- 「運動の楽しさ」と「運動量」を意識した授業（力いっぱい動いた、楽しかったという実感のある授業）
- 児童の運動技能の習得を目指した授業の研究と工夫
- 体力テストを体力づくりに活かす工夫（自分の体力の状態を知る。）
- つながり（児童と児童、児童と教師、児童と教材等）を大切に学習
- 学習カード・資料の工夫や保健・体育ファイルの活用による体力向上の意識化
- 保健学習の充実（文科省「生きる力」を育む小学校保健教育の手引きの活用）
- 学級担任と養護教諭・栄養教諭等とのT Tによる保健学習の工夫

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

（_____はアクティブワンの取組）

- 体育的行事（校内・対外）
行事と関連させた年間指導計画に沿って効率的な指導を行う。また、校内・対外の体育的行事を目標にして、運動能力の向上を図る場とする。（校内体育大会、体力テスト、校内マラソン大会、水泳がんばろう会、連合体育大会、校内なわとび大会など）
- パワーアップ運動（業間体育）
毎週火曜日・木曜日の2回、業間体育として、エンドレスリレー・短距離走・コーディネーション運動・8の字回旋跳び・なわとびを中心とした体力づくりを行う。
- 学級活動、総合的な学習と体育学習や保健学習との関連（「食・健康」をテーマとした健康の維持増進、体力向上を考える学習、体力テストの結果の分析から体力を高める運動へつなげる学習など）
- 安全教育の充実（水難事故予防講習会（4・6年生）や救命救急（5年生）の授業の工夫）
- 希望者を対象とし、放課後に練習会の開催（県陸上競技大会、県学童体操競技大会）
- 体育委員会による、運動企画の実施。
（ジャベボール投げ大会、連続逆上がりコンテスト、スピードなわとびコンテストなど）

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

（_____はアクティブワンの取組）

- 運動環境づくり
各学年ホールや体育館に鉄棒を設置したり、学級用ボールや大なわを配布したりして、日常的に運動に親しめる環境をつくる。
- 市・県への報告との関連
市、県の調査報告と合わせて、水泳、なわとび、器械運動については、学年で達成目標をもって取り組むようにする。体力テストの全項目で県平均を上回ることを目指す。

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 鯖江市進徳小学校

自分の体力向上に関心をもち、めあてを達成するため 考えて運動に取り組める子の育成

<体育の授業について>

- ・年間の指導計画を元に、毎時ごとにその時間の「ねらい」を明確にし、児童が互いの活動に対して、アドバイスをを行う。また、タブレットのビデオ機能を利用することで自分の動きを客観的に観察・分析できるような授業を展開し、授業後半での「振り返り」を次時に生かす。
- ・1年間を通して、毎時間の授業の準備運動の中に、持久力を高める運動やグーパー体操、ろく木ぶら下がり、柔軟性を高めるためのストレッチ等を継続して取り入れる。
- ・「まるわかりハンドブック」や、そのDVDを積極的に利用し、授業の工夫をする。
- ・鯖江市体育支援事業を有効に利用し、教師のスキルアップに努める。
- ・養護教諭とのT.Tで保健学習に取り組む単元を設ける。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- ・校内体育大会、鯖江市連合体育大会、マラソン大会、器械運動発表会、縄跳び発表会などに目標を明確にもたせて参加させる。縄跳び発表会は、密を避けるため、学年ごとの実施とする。
- ・体育委員会では、1学期に運動が苦手な児童でも楽しいと感じられるようなゲームや運動を企画、運営する。2・3学期には、それをもとに縦割り班対抗のスポーツフェスティバルを行うことで、運動が好きになり、仲間と喜び合える時間をつくる。
- ・業間体育では、火・木曜日の週2日、持久走、エンドレスリレーを行う。また、全学年がスタート時間を合わせて活動に取り組めるよう音楽に合わせることで、楽しみながら短い時間の中で効率的に行い、体力を高める。
- ・雨天時には、短縄のいろいろな跳び方にチャレンジしたり、クラス全員で大縄に取り組んだりする。
- ・器械運動交歓会前には、放課後に練習会を開き、スキルの向上を図る。
- ・月に一度、学年対抗の大縄記録会を行う。（10月より）

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- ・外遊びを奨励し、積極的な運動への参加を呼びかける。
- ・県学童体操大会、市民なわとび大会など、地域の体育的行事への参加を呼びかける。
- ・夏休み前に、ラジオ体操練習会を体育委員会中心に行い、正しい体操の方法を学び、夏休みの地域参加を促す。
- ・コロナ禍なので、基本的に運動中はマスク着用とする。

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 鯖江東小学校

自己の成長を目指し、仲間ともがんばる子の育成

・効果的な体力づくりの推進～体育授業の充実と業間運動の工夫～

<体育の授業について>

- ・ 6年間を見通した指導計画を作成し実施する。
- ・ クラス体育の充実と授業中の運動量を確保するために、時間割を工夫する。
- ・ 教師が授業の中で一人一人の課題を把握するとともに、児童自らが自分の課題を見つけられるように学習カードを活用する。グループ活動を取り入れ、学び合う手立てを講じる。
- ・ 指導力の向上を目指し、場の設定や指導方法について教員間で共通理解を図る時間をとる。
- ・ 年間指導計画と体育的行事を関連させ、各領域の運動を通して体力の向上を図る。（体育の学習の発表の場として行事を行う。校内体育大会、連合体育大会、マラソン大会、器械運動発表会、なわとび大会など）
- ・ 保健学習の充実（養護教諭と連携し、児童の歯・口の健康づくりに関連した授業を行う。）

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

○業間運動の実施 パワーアップ

- ・ 毎週火曜日と木曜日の業間の時間を利用して体力づくりをする。

◎グラウンド使用可の場合（10分程度）

学年ごとに長距離走（5分間走）の実施。

◎グラウンド使用不可の場合

短縄跳びを実施する。

※それぞれマラソンカードやなわとびカードを使う

○休み時間の活動

- ・ 外遊びの推奨・・・各学年に外用のボールを貸し出す。
体育委員会が考える、運動の企画を実施する。

○放課後活動

- ・ 小学生陸上大会や駅伝大会、県学童体操大会に参加する。
大会に向けて放課後練習会を開催し、児童の体力・技能の向上を図る。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- ・ 校内体育大会の全校ダンス「さばひがイッチョライ」では、練習用動画（後ろ向き撮影や動きの解説等）をホームページで公開し、家庭で練習したり、踊ったりできるようにする。

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 神明小学校

仲間と共に進んで運動に親しむ児童の育成

<体育の授業について>

【学び合う集団づくり】

- ボール運動や表現運動、器械運動の領域で、効果的な話し合い（作戦タイム）活動を行う。
- iPadを活用し、仲間と共に動きを確認したり、助言し合ったりする。

【保健や健康に関する取組み】

- 感染症予防について職員間の共通理解を図り、徹底していく。
- 5学年「けがの防止」6学年「病気の予防」の単元において、養護教諭と連携し児童の健康づくりに関連した授業を行う。
- 毎朝全校一斉にビジョントレーニングを行い、目の健康について意識を高める。

【指導力向上】

- トップアスリート派遣（ボール投げ）による体育授業を活用し、本校の課題である投力を強化すると共に、教員が専門的な指導法を学ぶ。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- 毎週火曜日・木曜日の2回、授業後に5分間運動を行う。

【晴天時】

- ・体育委員会を中心に、外遊びを推奨する。
- ・10月はマラソン大会月間として、マラソンカードを活用してランニングを呼びかけ、持久力向上を図る。

【雨天時】

- ・各教室でパワフル体操（神明小独自のストレッチ&体幹トレーニング）を行う。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- さばえスポーツクラブの出前授業を活用し、体育の授業に生かす。
- そだての会役員や地域・学校協議会委員と連携し、学校保健委員会を開催する。

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 鯖江市鳥羽小学校

重点目標：望ましい生活習慣の確立と体力の向上
具体的な取り組み：体育の授業だけでなく業間運動など、様々な場面での運動量の確保

<体育の授業について>

- 市の「体育大好き支援事業」を積極的に活用して、教員のレベルアップと児童の体力アップを図る。
- 投力向上のため、低学年では「投げる」につながる動きや遊びを取り入れ、高学年では「投げる」基礎・基本の動きを説明し、投げる機会を多く作るようにする。
- 授業の流れを示し、児童がめあてと目的意識をもって取り組み、授業後には振り返りをするようにする。
- 教員間で教材を共有する。また、個人で持っている教材や学習カードを共有できるように、フォルダーに残していく。
- 体力テストの結果や学年に応じた項目で記録をとり、その推移を把握し、技能向上に役立てる。
- 教員全員が、具体的な授業づくりのポイントを共通理解し、発達段階に応じた指導を行うため、「まるわかりハンドブック」や多様な動きをつくる運動などを参考にする。
- 児童や教員のiPadなどを活用して、児童の視覚にうったえる授業づくりを実践する。
- 養護教諭や栄養教諭と連携を図り、保健の授業や学級活動などで健康教育を行う。また、歯磨きやノーメディアディについて、家庭と連携して取り組む。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- 体育大会や校内マラソン大会、校内なわとび大会等の行事を企画し、それに向けた練習を計画的に行うことにより、児童の体力向上を図る。
- 集会委員が中心となって縦割り活動に長縄跳びを計画し、運動に親しませるように努める。
- 週2回の業間運動（鳥羽っ子タイム）として8秒間走・シャトル投げ・持久走・縄跳びを実施し、運動量を確保する。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- 夏季休業前にラジオ体操練習会を開催し、夏季休業中のラジオ体操への参加意欲を高める。
- 体育館の使用を学年毎に制限することで、より多くの児童が広いスペースで遊べるようにしたり、業間運動の時間や休み時間には、低学年に遊具遊びや外遊びを奨励したりする。

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 鯖江市中河小学校

楽しんで体をきたえる中河っ子

<体育の授業について>

- 授業の準備運動の中に、持久走、ダッシュ、グーパー体操、逆立ち、馬跳び等発達段階や時期と単元に合わせた体力を高める運動を取り入れる。
- 一昨年の体力テストの結果で柔軟性が弱かったため、柔軟運動を取り入れる。
- 各学年の体育の授業、業間活動を通して運動の質と量を確保し、児童が満足できる授業展開を心がけ、意欲的に最後まで粘り強く取り組ませる。
- 泳力については、水泳の授業時数を確保し久しぶりの水泳学習のため、水に慣れるところから丁寧に支援する。
- 保健の学習では、養護教諭と連携して児童の実体に合わせた指導ができるようにする。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- 業間運動（パワーアップタイム）
火、金曜日の業間に行う。
《晴れるとき》
☆ 準備運動・グーパー体操→持久走→整理運動→目の体操
《雨のとき・冬》
☆ 準備運動・グーパー体操→短縄跳び or 大縄跳び→整理運動→目の体操
- 外遊びの日の設定やスポーツ大会の実施（体育委員会、児童会が計画・実施。）
- 市連合体育大会に向けた練習会の実施
- 体育大好き支援活動を通して、器械運動の充実化をはかる。
- 縦割り遊びの実施（児童会を中心に、計画・実施。学期に2回程度）

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- クラスにソフトバレーボールやサッカーボールを配付し、気軽に運動遊びに取り組めるようにする。
- 地域で開催される体育的な行事に進んで参加するよう、家庭と連携して呼びかける。

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 鯖江市片上小学校

「ねばり強くがんばりぬく もんじゅっ子の育成」

<体育の授業について>

- 学習カードや教材教具について
児童が個人の目標に応じて運動に取り組めるよう、年度をまたいで使用できる学習カードを作成し、活用する。
- ICT機器の活用環境整備
体育の指導に活用できる資料（校内で作成した物を含む）や動画を児童や教員のタブレット端末からアクセスできるようにする。（データ保存場所の周知等）
- 保健指導の工夫
保健領域の授業を核として、養護教諭と連携した健康教育、性教育の指導を行う。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- 朝の体操（本校独自の体操）
全学年、朝の会でグーパー体操とビジョントレーニングを組み合わせた体操を行う。
- 業間体育：文殊っ子タイム（毎週火・木・金曜日）
夏季（4～11月）：曜日によって学年ごとに活動する場所を分け、グラウンドでの持久走（学年ごとに周回数を目安を設ける）と体育館での室内運動に取り組ませる。室内運動では、SAQやコーディネーション運動を中心に各学年に適した運動を行わせる。
冬季（12～3月）：体育館や特別教室等で、持久跳びや技能跳びに取り組ませる。
- 学校行事
年間指導計画や業間運動の内容と関連づけ、目標を持って行事に取り組ませる。
（時間走記録会（年2回）、校内体育大会、校内マラソン大会、校内なわとび大会）
- 遊びの充実
児童が楽しみながら運動し、体力強化できるよう、様々な遊びができる環境を整える。（縦割り班ごとに遊ぶ機会の確保、委員会主体の企画等）
また、どの児童も安全に、楽しく運動に親しむことのできるような環境づくりを行う。（多目的ルームに鉄棒を常設、ボール・一輪車・ポッチャ用具等の活用、固定遊具の使用推奨等）
- 期間限定の活動
期間限定で、業間や放課後に陸上、器械運動の練習会を行う。また、社会体育の大会にも参加促すことで、児童に意欲や目標をもたせる。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

- 保護者との連携
放課後活動では、家庭や地域と連携し、運動中や下校時の安全管理に配慮する。保護者には、その都度、児童参加承諾書の提出を求める。また、大会等への送迎も保護者に委ねる。
- 体育支援事業や地域人材の活用
児童の技能と教職員の指導力向上のため、体育支援事業や地域人材を活用する。
- ラジオ体操の指導
学校行事として外部講師によるラジオ体操指導を実施し、正しい動きを身につけさせる。（学校保健委員会として実施予定）
- 感染症対策関連
体育館入り口や常設鉄棒の付近などにアルコール消毒液を設置する。
また、休み時間の体育館使用可能日を学年毎に分ける、業間体育を行う場所を学年毎に区切るなど、密にならずに運動できる環境を整える。

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 鯖江市立待小学校

進んで運動する子の育成

<体育の授業について>

- 体育の授業の中で十分な運動量を確保できるように学習内容や授業形態を工夫し、学習カードを効果的に活用する。
- 本校の体力テストの結果をふまえ、準備体操の中に握力や肩の周りの筋肉の強化を図る運動（グーパー体操、腕立て伏せ、壁倒立など）や柔軟性を高めるストレッチを取り入れ、課題の克服を図る。
- 器械運動の学習に向けて、教員対象に器械運動講習会を行い、指導力の向上を図る。
- 器械運動の学習を行う期間は、休み時間も鉄棒を使用できるようにし、意欲的にいろいろな技に挑戦できるようにする。
- 体育ファイルを利用して6年間の記録を残し、自己の学びを振り返ることができるようにすることで、めあてを持って意欲的に取り組む姿勢を育てる。
- 保健学習では、養護教諭や栄養教諭と連携を取りながら授業を計画し、学習を実生活へつなげられるようにする。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

- 学習発表の場として、校内体育大会や、器械運動発表会を行い、目標をもって取り組もうとする意欲につなげる。
- 器械運動発表会に向けて、全校でオリエンテーションを行い、高学年による模範演技を発表したり、技のポイントを解説したりし、めあてをもって取り組めるようにする。

「アクティブワン」

○立待っ子タイム（業間運動）

火・木曜の大休みに行く。晴天時はグラウンドにて持久走（時間走）や短距離走、コーディネーショントレーニング、8の字回旋跳びなどを行う。雨天時は校舎内・体育館で短縄跳びを学年ごとに決めた2種類の跳び方で2分間ずつ行う。記録を学習カードに残し、継続して努力している児童に対して賞状や認定証を出す。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

○ラジオ体操

夏休みのラジオ体操に向けて各学年で一つ一つの動きのポイントを解説しながら練習する。

○アイアイデー

毎月10日を「目を健康に保つ日」に設定し、アイアイデーとしてノーメディアの働きかけや、家庭でのメディアにおけるルールを確認する機会とする。その際にアイアイカードやスマートルール表を使用し、家庭でもチェックやコメントをもらいながら、目の健康や心の健康に対する意識の向上につなげる。

○目の体操

毎週火・木曜の朝活動で目の体操を行い、目の健康に対する意識の向上につなげる。

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 鯖江市吉川小学校

健康な体づくりに励む児童の育成

<体育の授業について>

○6年間を見通した指導計画の作成

→指導内容を定着させるために、運動の系統性を踏まえた指導を行う。
また、準備運動の中に学年に応じた補強運動を取り入れる。

○スポーツとの多様な関わりを目指した体育の授業づくり

- ①単元や各時間に「めあて」「ねらい」を設定し、授業後に「振り返り」を行う。
- ②「見合う」「教えあう」「話し合う」活動を意図的に取り入れる。
- ③身につけさせたい技能に応じて、場の工夫を行う。
- ④ICTを効果的に使い、視覚化、共有化、焦点化を行う。

○健康教育の充実

→保健学習を通し、児童一人一人が健康・安全に関する理解を深め、自らの健康を適切に管理し、改善していく能力を育てる。また、養護教諭と連携し、季節や社会情勢に応じて熱中症や感染症を予防するための行動がとれるよう指導していく。

<特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む>

○体育的行事と年間指導計画の連動

→体育的行事と年間指導計画を関連させ、各領域の運動を通して体力の向上を図る。
(校内体育大会、マラソン大会、水泳教室、連合体育大会
校内器械運動発表会、大縄大会など)

○運動遊びの促進

→年間を通して、運動遊びがしやすい環境整備を心がける。
・各クラスにボールを4つ貸し出したり、ホールに年間を通して鉄棒を設置したりする。
・冬期間は体育館に鉄棒を常設したり大縄の貸し出しを行ったりする。

○業間体育の実施

→県の施策「ザ・チャレンジ」と合わせたなわとびや時間走を行う。
(新型コロナウイルスの感染状況をふまえながら実施する。)

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

○つつじマラソンなどの地域の体育的行事への積極的な参加をすすめる。

○さばえスポーツクラブの出前授業を活用し、体育の授業づくりに生かす。

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 鯖江市豊小学校

進んで体を動かし 心も体も元気いっぱい豊っ子

＜体育の授業について＞

準備運動にストレッチとコーディネーショントレーニングを取り入れ、継続して柔軟性と敏捷性やバランス能力を養っていく。各領域の運動に対する目的意識をもたせるため、個人カードを利用する。カードなどは体育ファイルに保管し、体力向上を確認したり、学習の振り返りに生かしたりしていく。「ベースボール型」ゲームの中で「捕る」「投げる」「打つ」「走る」等の多様な動きを体験させ、その中でも特に「投げる」動きの向上を目指す。また、保健の授業では、養護教諭と連携して授業に取り組む。身近な事例などを紹介してもらうことで生活に生かせる学びを展開するよう努める。

＜特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む＞

業間を利用して、火曜日と金曜日に全校運動を行う。晴天時は全校での5分間走、雨天時には全校でのストレッチ運動や8の字回旋跳びを行う。カードを利用して関心を高め、継続的に行う。

9月に行われる鯖江市連合体育大会に向けて、体育の時間などを使って5・6年生が各種目に分かれて練習を行い、技能の向上を図る。

大休みや昼休みには外遊びを奨励し、遊びの中で楽しく体を動かして、体力アップを目指していく。サッカーボールやソフトバレーボールなどの遊び道具を各学年に準備して、遊びに取り組みやすい環境づくりに努める。

1学期には、体育大会のトラックを150mから200mに拡大し、走力アップを図る。夏休み前には、全校児童がラジオ体操の正しいやり方を身につけられるよう指導する。

2学期には、持久力向上を目標として、校内マラソン記録会を実施する。低・中・高のコースを設定し、練習会を含め、1つのコースに何度も挑戦することで、自己記録の伸びを目指して、大会に向けてより一層意欲的に取り組むことができるよう支援する。

3学期には、校内なわとび記録会を実施する予定であり、持久力と調整力を養う機会とする。

＜その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）＞

体育委員会が中心となって、「家でもできる体力アップ大作戦」を企画し、家庭などで積極的に取り組めるように声かけをしていく。

感染対策を継続しつつ、体育的行事を止めずに実施できるように保護者や関係機関へ協力を依頼し、呼びかけを行う。

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 鯖江市北中山小学校

運動大好き北中山っ子

～進んで運動に取り組み、体力の向上をめざそう～

<体育の授業について>

① 準備運動の工夫

- ・馬跳びや柔軟、バランスなどいろいろな動きを行い、柔軟性や調整力を養う。
- ・時間走やなわとびを行い、持久力を高める。
- ・北中山っ子体操を取り入れる。

②ユニバーサルデザインの授業づくり

- ・活動の流れや活動内容を提示し、自ら進んで活動に取り組めるようにする。
- ・場やルールの工夫、学習カードの活用を通して、運動の苦手な児童も意欲的に取り組めるようにする。

② ICTの活用

タブレットを使い、器械運動やリレーのバトンパスの様子等を子どもたち同士で動画をとり合い、確認し合う。

③ 保健指導の推進

各学年の実態や保健学習（3年以上）の内容に応じて、養護教諭と連携を図る。

<特別活動について>

①各種体育的行事の実施

- ・校内体育大会（5月）
- ・市連合体育大会（9月）
- ・マラソン大会（11月）
- ・校内8の字回旋跳び大会（12月）
- ・なわとび大会（2月）

※めあてをもって事前練習や行事に取り組むようにし、意欲や技能の向上を図る。

②1週間に2日（火・木）業間時に全校で体力づくりに取り組む。

- ・4月～10月の晴天時・・・北中山っ子体操、持久走、短距離
- ・雨天時・11月～3月・・・北中山っ子体操、なわとび

※マラソンカードやなわとびカードを活用し、意欲的に取り組めるようにする。

③体育委員会や保健委員会、給食委員会の発表や掲示等により、健康・安全について啓発し、基本的な生活習慣の向上を図る。

<その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）>

① 家庭や地域、外部団体等との連携

長期休業中にスポーツがんばりカードを配付し、運動への意欲を高める。がんばりたいことや振り返り、おうちの人の感想を書き、めあてをもって取り組めるようにする。

② コロナ禍での工夫や取組

- ・体育館使用を学年別に分けて、密を防ぐ。
 - ・児童が共有しそうな教具（ボールやバトンなど）は、使用した後に消毒をする。
- また、児童に手洗いを徹底させる。

令和4年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 鯖江市河和田小学校

めあてをもって楽しく運動し、個々の体力を高めよう。

＜体育の授業について＞

- ・体育の授業の中で十分な運動量を確保できるように学習内容を精選し、授業形態を工夫する。
- ・保健の指導内容に合わせ、保健委員会と連携して全学年で手洗い・うがい・消毒の習慣化を図る。
- ・「プラスワнтаイム」の実施種目に積極的に取り組み、児童にめあてをもたせるとともに、楽しく運動に親しむことを体験させる。
- ・単元のはじめに、児童のめざす姿や学習してほしい事を伝え、見通しを持たせるとともに、授業後に振り返りをさせることで、次時の目標をもたせる。

＜特別活動について ※「アクティブワン（業間運動）」を含む＞

- ・なわとび大会、マラソン記録会を全学年で実施する。
- ・クラブ活動に、体育的クラブを積極的に設定する。
- ・養護教諭や栄養教諭との連携をとり、保健の授業や学級活動などで健康教育（食育・性教育など）の充実を図る。
- ・年間を通じて週2回業間体育を実施する。1学期は、校庭で8の字跳び。2学期は、5分間走。冬期・雨天時および3学期には、校舎内でなわとび運動を行う。準備運動として、毎回ラジオ体操を行う。

＜その他（家庭や地域、外部団体等との連携、コロナ禍での工夫や取組み等）＞

- ・縄跳び大会やマラソン記録会に向けて、家庭でも練習を積ませる。
- ・マラソン記録会の安全確保の為、PTAのボランティアを要請する。
- ・業間体育では、学年ごとに実施場所を決めることで密を避ける。
- ・体育館前に消毒液を設置し、入館前の消毒を習慣化させる。